平成 24 年 11 月 6 日

各位

会 社 名　株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
代表者氏名　代 表 取 締 役 社 長　小　澤　洋　介
（コード番号：７７７４　ＪＱ）
本店所在地　愛知県蒲郡市三谷北通 6 丁目 209 番地の 1
問合せ先　取締役経営管理部長　大　林　正　人
電話番号　０５３３－６６－２０２０（代表）

平成 24 年度「IT 融合による新社会システムの開発・実証プロジェクト」テーマ採択のお知らせ

このたび、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した平成 24 年度「IT 融合による新社会システムの開発・実証プロジェクト」（「ヘルスケア」分野）において、当社が参加する研究テーマ「角膜再生医療の普及のための診断・治療 IT 支援システム開発・ビジネスモデル実証事業」が採択されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、角膜再生医療の実現により、ひとりでも多くの患者さまの QOL（生活の質）向上に貢献できることを願っております。

なお、今回の採択テーマにつきましては、平成 24 年 10 月 25 日発表の平成 24 年度「IT 融合による新社会システムの開発・実証プロジェクト」採択テーマ一覧（NEDO のホームページより）をご参照ください。　http://www.nedo.go.jp/content/100507079.pdf

記

【研究テーマ】　角膜再生医療の普及のための診断・治療 IT 支援システム開発・ビジネスモデル実証事業

【概要】　本研究テーマは、角膜再生医療の手術適応診断や術後管理に必要となる角膜の透明度、濁り、充血等の「患者病状情報（所見）」をデジタル化し、それらの情報に基づいた診断支援を可能にすること、あわせて、移植に供する角膜シートの品質管理情報もデジタル化することを目指すものである。
角膜再生医療の普及には、たとえ再生医療製品を製造する技術が確立できても細胞培養が煩雑であり熟練が必要であることや、術前術後において患者の眼の状態を的確に評価することができるのは高度な知識と経験をもつ専門医のみであることなどの課題がある。術前評価から治療効果に係る一連の医療情報を連携させデータベース化することにより、課題を克服し、角膜再生医療の実現化と普及を加速する。

【当社の役割】　当社は患者自身の細胞・組織を利用したヒト細胞組織加工製品として、自家培養表皮ジェイス（適応対象：重症熱傷）と自家培養軟骨ジャック（適応対象：膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎（変形性膝関節症を除く））の製造販売承認を取得し、さらに自家培養角膜上皮の開発も進めてきた。
本研究テーマで角膜シートの品質管理システムの開発や治験計画策定支援システムの開発にあたり、当社がこれまで培ってきた再生医療製品開発技術ならびに品質管理技術等のノウハウを提供する。

【研究開発責任者】

責　任　者	西田（にしだ） 幸二（こうじ）
所 属 部 署	大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学（眼科学）
役　　職	教授
所　在　地	大阪府吹田市山田丘 2-2

【実施機関】

大学名	大阪大学
大学所在地	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2
社名	株式会社ニデック
本社所在地	〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町前浜 34 番地 14
社名	株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
本社所在地	〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通 6 丁目 209 番地の 1

（補足説明）

「IT 融合による新社会システムの開発・実証プロジェクト」では、「都市交通」「ヘルスケア」「農商工連携」の 3 分野について、個別要素における高い技術を IT により統合させて、次世代の持続可能な社会システムを実現するビジネスモデルを構築すること、また、概ね 10 年後を目処に我が国が中心となって「IT 融合新産業（大量の情報の収集・分析・活用を可能にする技術によって、従来解決が困難であった社会課題の解決に貢献するビジネス・産業）」を創出することを目標としています。

（今後の見通し）

本件による平成 25 年 3 月期通期業績に与える影響は軽微であると考えております。今後当社の業績に重大な影響を与えることが判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上

【本プレスリリースに関するお問合せ先】
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
経営管理部経営企画課課長 榊原 規生（さかきばら のりお）
TEL：0533-66-2020　　FAX：0533-66-2019